

自由な発想をうみだす多様な働き方をサポート 未来がみえるオフィス空間「Field(フィールド)」をオープンしました

野原ホールディングス株式会社(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：野原数生)は、2013年より会社風土の改革、働き方改革に本格的に取り組んでおります。弊社では、これらを実現するための一つの試みとして、社員が多様な経験と交流をしながら、自由な議論を交わし、仕事を創造する空間を本社ビル内にオープンいたしました。



【左上】1階エントランスと会議室

【右】8階のコミュニケーションスペース「Field(フィールド)」

昨年7月に完成した1階エントランスはお客様をお迎えするスペースとして、より開かれた明るい空間をイメージしております。そして、この度完成した8階のコミュニケーションスペース「Field(フィールド)」は、リラックスしながらアイデアが生まれる「自由な発想の場」をコンセプトとしています。

世の中の役に立っている事業はどれも、最初はなにもないフィールド(野原)で、だれかが“未来への思い～アイデアを描いたことからスタートしています。弊社をはじめとするNOHARAグループは、優れたチームワークによって、社内外の思いとアイデアをつなげ、ひとりひとりが多様なビジネスのフィールドで未来を創りつづけることを目指します。

自由、気ままに～オフィスを感じさせない工夫で多様な働き方をサポート～

私たちを取り巻く環境は、IoT(モノのインターネット/Internet of Things)、ICT(情報通信技術/Information and Communication Technology)といったデジタル技術の急速な進展とともに、社会自体が個人の多様性や生きがいを重視し、多様な個人が活躍する時代が変わろうとしています。

弊社では、時代の変化とともに、会社と社員の関係も変化していくと考えております。個人にフォーカスした価値観に基づく時代では、「会社・仕事＝自分個人の生きがいとすることで、人生を実りあるものにする」と捉え、オフィススペースにも、仕事への前向きな気持ちやクリエイティブな発想を生む環境が必要と考えています。

<クローズからオープンへ～企業文化を変えていく象徴としてのエントランス>

エントランスと会議室のある1階は、社員の利用はもちろん、来訪者を迎える大切なスペースです。

1階全体は、新しい表現を模索する人たちのための、自由な発想に寄り添う壁紙「Wh0(フー)」(※)の遠くの山並みと木々といった自然をイメージしたダイナミックな柄で統一し、フレッシュかつ躍動感のある空間としています。

個室会議室には、吸音にすぐれた「サウンドマイルド」(※)を設置し、会話の聞きやすさにも配慮しています。

▼エントランススペース



【左】明るい光が差し込む、フリーミーティングスペース



【右上下】オープンな待合スペースと半クローズなブース席

▼個室会議室スペース



【左上下】通路を挟んで両側に設置した個室会議室。壁面は、エントランスと同じ柄と木々をイメージしたストライプの2タイプ。



【右】壁面には木々をイメージした壁紙「Wh0」と「サウンドマイルド」でデザイン性と実用性を両立させた個室会議室

(※)全て、弊社オリジナル製品です。

<「和」と「個」の共存～自由な発想で「おもしろいこと」がはじまる空間「Field(フィールド)」>

8階の「Field(フィールド)」では、「あの場所に行くの良い発想が湧いてくるかもしれない」、「あそこに行くと、楽しくコミュニケーションをとって仕事ができる」、「仕事に集中できる」と思える空間を目指しました。そこで、コミュニケーション中心の「和」のスペースと集中できるプライベートな「個」のスペースを一つの空間に融合させました。

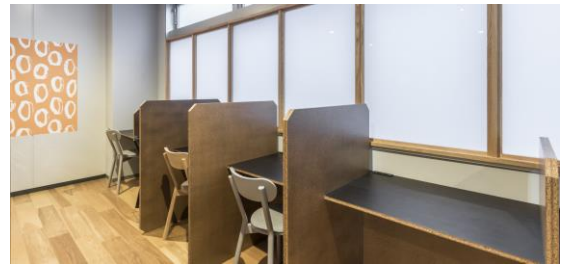
天井装飾材である「カールトンクラウド」(※)を用いることで、スペース全体の一体感を図るとともに、開放感とハンモックに揺られているような浮遊感を演出しリラックスできる空間を目指しました。

また、壁面は貼ってはがせる「EASY2Wall」(※)でポップに装飾し、オフィスを感じさせないユニークな空間として彩りを加えています。

▼自由、気ままに、多様な使い方ができる「Field(フィールド)」



【左】統一感のある木目調の家具と床、天井のカールトンクラウドで動きのある空間に。



【右上下】個のスペース「ひとり空間」(上)と少人数から多人数まで利用可能なクローズのブース席「囲(かこみ)」(下)



【左上下】5～6人で利用する和のスペース「和(なごみ)」(低い背もたれで囲まれたブース席)(上)と、対面での打ち合わせや個人利用も可能な「ハイカウンター」(ハイカウンター席)(下)



【右】スタジアム型の座席が特徴的な和のスペース「ひな壇ブース」。テーブルは用途に応じて自由に動かすことができるので、多人数参加のプレゼンや、近い距離での話し合いにも利用可能。カラフルな色調のクッションも置き、スペースにアクセントを加えるとともに座り心地にも配慮。

(※)全て、弊社オリジナル製品です。

野原ホールディングス株式会社について

2017年、創立70年を迎えた野原グループは、これまで建設業界を中心に建材や鉄鋼関連およびセメントなどの建設資材、道路交通標識などの販売・施工を通して、事業を拡大するとともに、時代の変化に合わせた変革や創造を繰り返しながら成長してきました。

2017年7月には、さらに機動力をもって成長を加速させるべく、野原産業株式会社からホールディングス化をいたしました。これまで蓄積した経験と知見、ネットワーク力を活かしながら、事業領域や業界構造にとらわれることなく、新たな提案を行うイノベーターを目指し、プロ向け建材通販サイト「アウンワークス」や「GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA」、建設情報のデジタル化を目指す新会社 BIMobject Japan 株式会社の設立など、新規事業を積極的に展開しています。



【会社概要】

本社：東京都新宿区新宿 1-1-11

設立：2017年1月5日

資本金：4億8,000万円

代表取締役社長：野原 数生

▼会社ホームページ

<http://www.nohara-inc.co.jp>

【本リリースに関する問い合わせ先】

野原ホールディングス株式会社

社長室(担当：齋藤、中島)

e-mail：nhrpreso@nohara-inc.co.jp / TEL：03-3357-2231